

島根県立大学・大学院入学式 知事あいさつ

一言、お祝いの言葉を申し述べます。新入生の皆さん、入学、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また、ご列席のご家族の皆様に、心からお慶び申し上げます。

島根県立大学は昨年、10周年を迎えました。県立大学はこの短い期間に、卒業生の就職率の高さや、「Good Practice（優れた取り組み）」と呼ばれる文科省の大学教育の向上のためのプログラムに採択された件数などからしますと、全国でも有数の公立大学として発展してまいりました。

皆さんは、本田学長の下で、今後さらに発展、充実が期待されるこの大学で学ばれ、これから何年か先の社会人としての生活と生き方の準備をこの大学でなされるわけであります。

今、世界を見ますと、歴史的に見て大きな変動期にあります。世界的な規模で、エネルギー資源の不足と地球温暖化が同時に進行しています。世界経済のグローバル化が進んでいます。そうした中で、一昨年秋に、世界景気の急激な後退が起り、世界はこの衝撃からまだ立ち直っていないのであります。

また、アジアを見ますと、中国やインドのような人口の多い新興国が、先進国にキャッチアップするプロセスが本格的に始まっております。中国のGDPは今年あたりには日本を追い越す勢いにあります。こうした動きは、我々が住んでおります北東アジア、日本にも、そして島根にも極めて大きな影響を与えてくるわけであります。

こうした世の中の早い変化に、人も企業も、政府も県も対応していかなければなりません。大学も学生も同じであります。新入生の皆さん、どうか大学において、教養や専門的な知識を学ぶのに加えまして、世の中の現実と変化を冷静に分析・評価する力、主体的に行動する力、そして生きる力を身に付けていただきたいと思います。

さて、本日、入学された皆さんの中には、県外から来られた方も多くおられます。島根県は、豊かな自然や古き良き伝統・文化、歴史が残っております。そうした中に、温かい絆のある地域社会があります。このように大都市では失われたものが数多く残っています。これらは島根の強みであります。

私どもはこうした島根の強みを活かしながら、島根らしい発展を目指しております。皆さんには、是非、在学中に、島根県をよくみていただき、地元の人々とも交流をされ、島根を好きになっていただければ、と思っております。

そして、例えば、島根県の県庁や市役所など、あるいは県内企業で働きたいという気持ちになられましたら、どうぞ、積極的にチャレンジして下さい。皆さんのような、若く、情熱のある人が島根の地で働いていただくことは、私どもとしては大いに歓迎するところであります。

皆さんには、この島根県全体を、言わば、皆さんのキャンパスにして、幅広くいろいろな活動にチャレンジして、自分の可能性を広げて欲しいと思います。

終わりになりますが、今年の平岡都さんの事件は本当に残念なことであり、私どもとしても誠に申し訳ないことであります。県では、こうした事件が二度と起こることのないよう、市町村、県民の皆さんと一体となって、抜本的な治安対策に取り組んでおりますことを、この機会に私からも改めて皆さんにお伝え申し上げます。

それでは、今後、皆さんがこの浜田の地で、そして島根の地で学生生活を大いに楽しまれながら、勉学にいそしまれることを祈念申し上げまして、私からのお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。